

東京  
衛生学

# 東京大と連携講座

## 日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行兼 中原 泉  
編集人 1部10円  
発行日 偶数月末日  
定価 1部10円  
編集室 (〒951-8580)  
新潟市中央区浜浦町1-8  
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク

## 歯学部初の東大講座

### 歯髄幹細胞を用いて 肝臓再生の共同研究

本学生命歯学部歯生学講座の八重垣健教授は、2019年11月、歯髄幹細胞を用いた肝臓・膵臓治療の共同研究のため、東京大学大学院医学研究科(古村真特任教授)に社会連携講座「組織幹細胞・生命歯科学」を開設した。歯学部と東大との連携講座は初めてである。



## 村上・薩摩林名誉教授の叙勲

本学名誉教授の村上俊樹先生と薩摩林紘子先生は、令和元年秋の叙勲で瑞宝中綬章を受章された。村上名誉教授は、1965年(昭和40)本学卒業。69年大学院歯

生命歯学部歯生学講座の八重垣健教授(第68回卒・大学院生命歯学研究科長)は、かねて歯髄幹細胞を用いた肝臓・膵臓の治療の研究をすすめてきた。

11月、東京大学大学院医学研究科の古村真特任教授と組んで「歯髄幹細胞のデリバリーシステム」の開発を期して、東京大学に「組織幹細胞・生命歯科学」の社会連携講座を開設し、本格的な臨床研究をめざすことになった。東大医学部との連携講座は、歯科大学・歯学部としては最初である。



ヒト歯髄から再生したヒト肝臓のブタへの移植実験

同講座の研究は、本学がすでに開発した方法を用い、歯髄幹細胞を肝細胞・膵細胞に分化させ、これらの再生細胞を効率的に体内に投与する方法を開発することを目的とする。すなわち、歯髄幹細胞を肝細胞・膵細胞などに分化させた再生細胞を用いて実験中の八重垣教授

この研究は、東大側の古村特任教授(小児外科)は、実験実務および患者治療に向けた準備。本学側は、八重垣教授が細胞供給・実験指導を分担する。また口腔外科学講座の里見貴史教授も実験指導等に当たり、同講

2〜3年前にアメリカの学会で、歯髄から肝細胞再生について基調講演しました。その時、古村教授から共同研究をしたいとの申し入れがあり、今回の

社会連携講座の開設となりました。生命歯学部です。若い先生・大学院生には、歯科の枠にとられない研究を願っています。(八重垣教授談)

## 辞令

薩摩林名誉教授は、1962年東京理科大学理学部卒業。同大学院理学研究科修了後、71年(昭和46)本学歯学部化学教室講師、72年新潟歯学部付となり、1982年教授に就任。1982年教授に就任。学生部長等を歴任した。

略歴・1993年(平成5)3月日本大学医学部卒業。99年3月同大学院医学研究科修了。日本大学医学部附属板橋病院助手、講師等を経て2016年3月同大学准教授に就任(医学部外科学系乳腺内分泌分野外科学)

竹澤 史織 医療職員(看護師)として採用する(附属病院看護部) 令和元年8月1日 本学

吉村 友理 医療職員(看護師)として採用する(附属病院看護部) 令和元年9月1日 本学

博士(医学) 鈴木 周平 講師として採用する(生命歯学部外科学講座) 2009年3月日本大学医学部卒業。17年3月同大学院医学研究科修了

令和元年5月1日 本学 医学博士 佐藤 巖 名誉教授の称号を授与する 令和元年6月1日 本学

博士(歯学) 春原 正隆 教授に任命する(生命歯学部解剖学第一講座) 令和元年7月1日 本学

博士(歯学) 神尾 崇 講師として採用する(生命歯学部放射線学講座) 1999年東京歯科大学卒業。2003年同大学院生命歯学研究科修了

令和元年5月1日 本学 医学博士 佐藤 巖 名誉教授の称号を授与する 令和元年6月1日 本学

博士(歯学) 井出 吉昭 生命歯学部解剖学第一講座に配置換えを命ずる(生命歯学部発生・再生医学講座) 准教授に任命する

博士(歯学) 長谷川 優 新潟短期大学歯科衛生学部に配置換えを命ずる(新潟生命歯学部歯科矯正学講座) 令和元年8月1日 本学

博士(歯学) 亀田 剛 講 師 井出 吉昭 生命歯学部解剖学第一講座に配置換えを命ずる(生命歯学部発生・再生医学講座) 准教授に任命する

2020年度 歯学会大会 第9回国際歯学研修会 6月7日に新潟で開催

2020年度日本歯科大学歯学会大会と第9回国際歯学研修会は、2020年(令和2)6月7日(日)に、新潟生命歯学部で開催されることになった。歯学会大会会長・新潟生命歯学部

会と校友会の共催で、メインテーマは「Regenerative Medicine in Dentistry」。午後1時40分よりオープニングセレモニーを行ったのち、1時50分からスィス・ヘルン大学のProf. Dr. Tatemki Inaka(飯塚建行教授)が特別講演を行う。

# Interanational Exchange

## 海外5大学に学生14名を派遣 姉妹校3校から14名を受入れ



(東京) 本館前でU B CとUM (左2名) の学生たち



弥彦山、青空に向かって全員でジャンプ (新潟)

本学の交換学生制度は、1986年夏にアメリカ・ミシガン大学に学生6名を派遣し、同大学から2名受入れたことに始まる。交換学生制度は本学独自の教育プログラムであり、北米大陸のアメリカ・カナダとは34年目を迎え、派遣と受入れは総計439名となった。また近年では、姉妹校の台湾・中山医学大学、イギリス・マンチェスター大学とも交換学生プログラムを実施しており、本年は中国の四川大学にも学生を派遣した。

### U W ・ U B C 大学

本学では両学部の5年生から選ばれた学生たちが毎年、アメリカ・ワシントン州シアトルのワシントン大学(UW)とカナダ・バンクーバーのリティッシュコロンビア大学(UBC)を訪問している。

また休日には本学の学生とともに、東京デイズ、ニールランド、浅草、豊洲などを観光し、新潟では恒例となった弥彦観光や新潟まつりを楽しんだ。

今年3月2日にシアトルに到着し、16日に帰国した。14日間の研修期間のうち、前半4日間をシアトルで過ごし、後半はバンクーバーに移動して、U B Cで研修プログラムを受講した。バンクーバーでは、3月7日から3日間開催されたP D C (Pacific Dental Conference II 太平洋歯科カンファレンス)にも参加した。

U B C 6名と、マンチェスター大学(U M) 2名の学生たちは、7月29日に到着し、8月5日まで東京で、5日から12日まで新潟に滞在し、両学部の学内施設を見学したり、附属病院や多摩クリニック、新潟病院で研修した。



U B C の学内を見学し研修も行う



東京附属病院 (後列中央・三代冬彦病院長)

【U W ・ U B C を訪問して】シアトルでは、街を散策したり、ボーイング社を見学した。U W を訪問した際には歯学部や病院だけでなく広大なキャンパスを見学した。バンクーバーでは滞在中、パートナー宅にホームステイしたが、このおかげでパートナー間の親睦をより深めることができた。

また、歯学部附属病院では病院実習を見学した。内容としては私たちの5年次登院実習に近いものだったが、U B C では学生が治療を行うと治療費が安くなるため、患者さんも学生による治療を承諾している。疑問点があれば先生を呼び、手技等を確認するが、基本的に準備から治療までを学生一人で行うという点が印象的だった。

【U W ・ U B C を訪問して】日本とカナダにおける環境は大きく異なる部分もあるが、似ている部分もあると実感した。同じ歯学部(U B C は総合大学だが)でも、学部自体の学生数はカナダのほうがむしろ少ないという印象だった。

また、バンクーバーに同行して実際の診療も見学した。診療室は主に学生一人に一つのユニットが割り当てられており、実際の患者を相手に長い時間をかけて診療を行っているのは、日本と大きく違うと感じた。曜日によって診療内容が分けられているのも印象的で、学生時代からより実践的な流れがある。こういった診療ができる文化的背景がうかがわれ、日本とは単



口腔リハの最先端・多摩クリニックを見学



バンクーバー空港では盛大な歓迎をうけた



新潟のウェルカムパーティー

蓋模型への装着が、スムーズに移動し学んでいけるようになっており、大変わかりやすかった。また、バンクーバーに同行して実際の診療も見学した。診療室は主に学生一人に一つのユニットが割り当てられており、実際の患者を相手に長い時間をかけて診療を行っているのは、日本と大きく違うと感じた。曜日によって診療内容が分けられているのも印象的で、学生時代からより実践的な流れがある。こういった診療ができる文化的背景がうかがわれ、日本とは単

純に比較できないながらもよい制度だと感じた。(吉田 祐記)

私の心に残っていることは、カナダの学生と様々な経験をしたことだ。U W や U B C でのような歯科診療をしているのか、どんな授業をしているのかをこの目で見る

(菅原志穂記)

- 派遣学生**
- 【ワシントン大学・ブリティッシュコロンビア大学】
    - 生命歯学部 長田奈々
    - 坂詰 南
    - 塩田聖悟
  - 【四川大学】
    - 生命歯学部 甲田 稔
  - 【中山医学大学】
    - 生命歯学部 菅原志穂
    - 山内優美
    - 大滝真央

- 受入れ学生**
- 【マンチェスター大学】
    - 生命歯学部 名取健太郎
  - 【マンチェスター大学】
    - 生命歯学部 小山瑠生
  - 【中山医学大学】
    - 生命歯学部 中野葉月
    - 林廷豫
    - 謝韶韜
    - 卓思如
    - 吳佳璇
    - 陳禎

- Mr. Kevin Liu
- Ms. Doris Pham
- Mr. Alan Wong
- Mr. Jacob Park
- Ms. Emma Sunderland
- Ms. Elise Morley
- Mr. Yu-Ju Wu (吳昱儒)
- Mr. Ting-Yu Lin (林廷豫)
- Mr. Shao-Yun Hsieh (謝韶韜)
- Ms. Szu-Ju Cho (卓思如)
- Ms. Chia-Hsuan Wu (吳佳璇)
- Ms. Chen Chen (陳禎)



日本歯科大学 第64回 富士見祭 2019年10月26日(土)・27日(日)

# 中山医学大学(台湾)

台湾・台中市の中山医学大学へは、本学から両学部学生4名を3月2日から16日まで派遣した。病院での研修では各診療科を回り、休日には九份や台南を観光した。

中山医学大学の学生6名は、9月30日新潟に着いた。10月1日にウェルカムパーティーの後、新潟生命歯学部臨床系講座や新潟病院の各診療科を回って研修した。休日に新潟市内で笹団子づくりや、峰村醸造での醸造見学、新潟市マンガアニメ情報館などを観光した。



中山医学大学での顕微鏡実習



研修のあと歯学部長を表敬訪問

【中山医学大学を訪問して】中山医学大学を見学して、感染対策の違いに驚かされた。わが校では患者さんに使用するエプロン等はディスプレイザルだが、中山では洗濯して使い回ししていた。しかし、東京・新潟の両病院で滅菌して使用している基本セットは、中山では

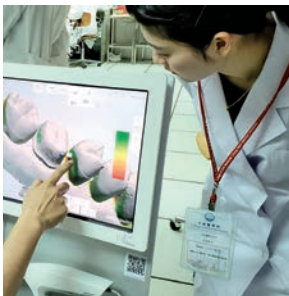
【中山医学大学を訪問して】中山の学生たちと交流し、日本との生活の違いにも多くの気付かされる点があった。今回の交換留学では、ただ旅行をするだけでは分からない、台湾の医療事情や人々の暮らしについて学ぶことができた。(佐藤遥香記)



一人ひとり自己紹介する中山医大の学生たち



新潟病院院長を訪問(右端・山口晃病院院長、左端・水谷太尊准教授)



3D画像で患部を確認



イギリスの歯科医療を実体験

在し、その中で各診療科や手術を見学した。治療は日本との大きな差はないが、歯科医師は親身になって患者さんと接していた。印象的だったのは、嘔みタバコが台湾の至るところで販売されていて、



休日には台北や台南を観光した



笹団子づくりも研修の一環?(新潟)



歴史を誇るマンチェスター大学

中山医学大学に来る口腔潜在的悪性疾患の患者さんの多くが、嘔みタバコにより罹患していたことだ。国民の嗜好品により病気に偏りが生じるのは興味深いと思った。また英語の重要性も痛感した。これからは英語を勉強し、グローバルに活躍できるよう日々努力したい。(福田悠記)

生と一緒に過ごした。もちろん主な言語は英語で、講義やコミュニケーションを取ることに苦労した。日本との保険制度や国民性などの違いを説明するときに、話したいことと話せる英語とのギャップがあることが一番もどかしかった。UMでは原子物理学の父であるアインシュタインや天才数学者のザフォードや天才数学者のアラン・チューリングなど、数多の偉人が実際に使っていた教室で講義があった。



UMのパーティーでは浴衣姿を披露

帯が学園都市になっていて音楽・芸術・学問など多様な専門分野に触れられるのも魅力的だった。病院見学ではインプラント、障害者歯科、保存小児科、歯内、補綴の診療室を見せてもらった。マンチェスター大学ではマネキンを使った実習をした後、2年間患者者に対して実際に実習をするカリキュラムで、これは日本との保険制度の違いを観光した。滞在先はマンチェスター大学が所有するホテルに泊まり、とても充実した日々を過ごした。(小山瑠生記)

## 四川大学(中国)

中国・四川省成都の四川大学には、6月30日から7月12日まで、2名の学生を派遣した。

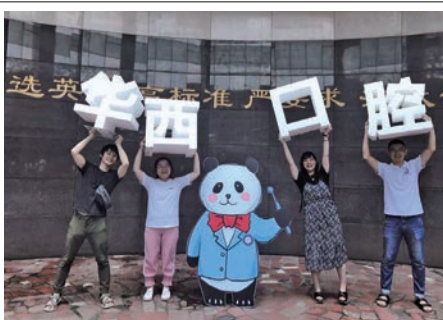
【四川大学を訪問して】最初の週は午前中が講義、午後は病院見学というスケジュールだった。ハーバード大学や東北大学から招かれた先生方が講義してくれた。いずれも高度な内容で難しく、英語による講義だったのが必死になって聞いていた。

病院見学では歯内治療科・補綴科・口腔外科・歯周病科を見学した。口腔の形状をしたパンチ型用ラバーダムシートやペリオスコブ、発音・構音障害自動診断ロボットなど、日本では見たことのないものもあった。口腔外科は特に大規模で、ベッド数は2千床にもなるという。また、唇顎口蓋裂の治療は中国トップクラスで、専用のフロアがあった。

世界40大学から教員や学生が来ており、パング基地訪問や食事を通じて海外の学生と交流することができた。英語圏の出身ではない人たちが多くいて、お互いに不自由な英語での会話だったが、日本のお菓子を配ったりジェスチャーで仲良くなった。最終週では二つ大きなイベントがあった。一つ目は学校紹介発表会で、日本で作成したパワーポイントで中国のバリエーションを開くこと、すべて英語



学生の国際技能大賞で個人優勝



四川省生まれのパンダも歯ブラシ手に



四川大学華西口腔医学院前で、世界各国からの留学生たちと

二つ目は咬合採得やCPR、窩洞形成3Dシミュレーター、スケッチなどを競うコンペティションである。テスト前には留学期間のパートナーである中国人、日本学生が一同に集まり、お互いに教え合う関係を構築した結果、大学対抗では3位、CPRでは個人優勝したことは一生の思い出となった。ホテルは海外の学生たちも同じところに宿泊した。エンジェルホテルと

(中野葉月記)

# レジデント4名が研修

## マヒドン・補綴学講座から

マヒドン大学歯学部補綴学講座からのレジデント、Mater of Scienceの本学での研修は、この5年ほど毎年続いて実施している。昨年は同講座でレジデントを募集しなかったため来校しなかったが、今年は7月14日から8月8日まで、4名のレジデントが新潟生命歯学部にて、各講座、診療科での研修、病院見学を受講した。

現在マヒドン大学歯学部補綴学講座から、本学補綴学第二講座に大学院生としてKanda Leenarithiwatが、保存学第二講座にはラシット大学から大学院生としてDr. Patom Chuenjitが留学中である。レジデントたちは、各講座の研修を真剣に受講した、と研修先の先生方からお聞きしている。受講した日、藤井一維歯学部部長より修了証書が手渡された。

（新潟生命歯学部歯科補綴学第二講座・渡邊文彦【研修レジデント】）



マヒドン・レジデントと新潟生命歯学部のスタッフたち



夏の信濃川の河畔で納涼会を楽しむ



藤井一維歯学部長から修了証を授与（新潟）

### 近藤健介先生（87回卒） 司法試験に合格

格が発表された。近藤先生は1999年（平成11）歯学部卒業。大学院歯学研究科で歯科学を専攻し、2003年に大学院修了後は東京・杉並区の歯科医院に勤務している。近藤先生は歯科診療に従事しながら、早稲田大



格が発表された。近藤先生は1999年（平成11）歯学部卒業。大学院歯学研究科で歯科学を専攻し、2003年に大学院修了後は東京・杉並区の歯科医院に勤務している。近藤先生は歯科診療に従事しながら、早稲田大

戦前は、歯科医師試験（検定）に及第したのち、弁護士試験にも合格した中井川吉治先生が有名である。中井川弁護士は、東京・青梅の歯科医

学法科大学院に通学し、国内最難関の司法試験に合格した。明年4月から、最高裁判所の司法研修所における1年間の司法研修ののち、修習の最終試験に合格すると、裁判官、検察官、弁護士となる資格（法曹資格）を取得することになる。父君は、日本歯科大学校友会の近藤勝洪会長。

師（本校校友）が、静脈注射事件で起訴されたとき、被告側弁護士として歯科医師の立場から論陣を張り、無罪判決を勝ち取ったことで知られる。

東京・図書館所蔵古書の解説冊子を刊行

生命歯学部図書館には、歯科関係の古書や戦前の本学教科書など約3千冊を地下2階の書庫に保存している。

図書館では、このほど小冊子『日本歯科大学生命歯学部図書館所蔵古書概要』にまとめて刊行し、関係者に配付した。これら古書の概要については、2015年6月から、図書館ホームページで紹介している。

Dr. Wain Prachaujit  
Dr. Thanisa Sirthap  
Dr. Thanonwan  
Chindarunggrat

島田客員教授は、日本の解剖書や明治期の翻訳医書に造詣が深い。生命歯学部図書館所蔵の古書から、洋書はフォックス、トームス、アングル、ブラックなど歯科医学分野に名を残す先人の書籍を、和書は本学の礎を築いた加藤清治、大庭淳一、豊田實、山崎清、松田良身、山口秀雄の各先生方の著書を中心に掲載している。

生命歯学部本館は築30年が経過し、設備関係が老朽化している。先に2015年度（平成27）から17年度（平成29）にかけて本館の冷却塔、エアハンドユニット、空調縦配管等の更新工事を行った。

今回は、本館の給排水配管、空調機および、配管、照明器具等の更新工事、およびトイレの大幅更新工事を2年半にわたって実施する。

工事期間は、2019

11月から2年半の工事

今回の更新工事は、天井に取り付けられている空調機、照明器具（LED化）、天井内配管の更新となるため、天井解体および復旧工事を行う。工事期間中は、工事エリアへの立入りは原則禁止となり、フロアー単位での工事となることから、工事範囲に該当する研究室事務室等は、他フロアーに仮移転を行っている。

学術フォーラム2020開催のお知らせ

日本歯科大学校友会では、学術フォーラム2020を令和2年3月15日（日）に開催します。会場は生命歯学部本館の3階と7階で、講師と演題は左表の通りです。受講料や申込み方法などの詳細は、『校友会・歯学会会報』45巻2号や上記QRコードからご覧いただけます。

## 日本歯科大学校友会 学術フォーラム 2020（令和2年3月15日[日]）講師一覧

場所	時間	氏名	卒回	所属	職階	演題
131講堂	9:30~11:10	講演1 関野 愉	80	生命歯学部 歯周病学講座	准教授	臨床が楽しくなるペリオの教養
	12:00~13:00	LS 井川 淳一	80	東京都開業医		「周術期口腔ケア用口腔粘膜保護剤 エピシル」について
	13:20~15:00	講演4 田中 浩祐	91	東京都開業医勤務		エンドの診査・診断 ～その治療に迷いはありませんか？～
	15:10~16:50	講演6 丸茂 義二	69	日本歯科大学	名誉教授	顎位は舌骨の位置で左右されている
135講堂	9:30~11:10	講演2 池田 哲也	81	杏林大学病院 耳鼻咽喉科・顎口腔外科	講師	周術期って何？はじめよう周術期口腔管理！
	11:20~13:00	講演3 宮下 渉	89	附属病院 矯正歯科	准教授	限局（部分）矯正は簡単なのか？それとも、難しいのか？
	13:20~15:00	講演5 里見 貴史	79	生命歯学部 口腔外科学講座	教授	日常臨床における「口腔癌」の見分け方～診断と最新の治療～
	15:10~16:50	講演7 松野 智宣	76	生命歯学部 口腔外科学講座	教授	その抗菌薬の処方、間違っています！～今、術後感染予防で何をどう使うか～
7F 臨床実習室	9:30~11:10	TC1 竹井 潤	技	附属病院 歯科技工室	医療職員（歯科技工）	知っておきたい!!ノンメタルクラスプデンチャーのトラブルシューティング
	13:20~15:00	TC2 上濱 正	78	茨城県開業医	客員教授	100歳時代にも大切な総義歯補綴臨床の基本
3F PCルーム	15:10~16:50	TC3 河合 泰輔	87	生命歯学部 歯科放射線学講座	教授	ビギナーのための歯科用CBCT講座～正しい三次元画像の操作と画像観察手順の習得～
132講堂	11:15~11:55	PS 矢島 悠里	101	附属病院 口腔リハビリテーション科	助教	在宅療養高齢者の舌圧と1年後の生命予後との関連 Relationship between tongue strength and life prognosis in elderly people needing at home nursing care
		PS 渡邊 美穂	103	新潟生命歯学部 口腔外科学講座	非常勤講師	ヒト歯髄を用いた培養骨組織の作製
134講堂	11:15~11:55	PS 古田 彩夏	104	附属病院 総合診療科1	非常勤歯科医師	キラリと輝く白い歯で、最高の笑顔にスパイスを！上顎前歯部にホームホワイトニングを用いた症例
		PS 大野 淳也	100	新潟生命歯学部 病理学講座	助教	唾液腺腺様嚢胞癌のMYB-NFIBキメラ遺伝子の発現と血管新生の関連についての研究

※LS=ランチョンセミナー TC=テーブルクリニック PS=ポスターセッション